

交通

自動運転技術や航空輸送技術の進歩により、移動の制限が今よりも大きく削減されることが予想されます。どこにいても十分なサービスを受けることができるため、田舎のデメリットは解消されるかもしれません。

No.382 / ヒント : 交通が不便×宇宙進出

耕作放棄地を利用して、ロケット移動

耕作放棄地も必然と増えているので、海外出張も5分でいけるロケット発射基地を誘致。

背景：人口減少に伴って耕作放棄地も増える、土地は余る。だから、田舎の不利な移動の点を解消したい。

効果：ロケット発射施設を誘致して、移動先進地区に。海外出張は篠山から！

No.383 / ヒント : 交通が不便×全自動化

パワースーツでどこでも移動

着用すれば、目的に応じて人体の動きをサポートしてくれる。

背景：高齢化が進み、日常生活に不便を来している人が増えている。

効果：日常生活での家事ほか、目的地まで徒歩で移動することなどが年齢や障害の有無に関係なくできるようになる。

No.384 / ヒント : 都会アクセス×エンタメ

売れないアーティストを街で応援する。

都会の路上ライブなどで、実力はあるが、売れないアーティストを郊外のホールなどに集めて、ファンを増やす。そしてメジャーデビューへ街全体で支援する。

背景：アーティストと街双方にとって良い効果がある。アーティストは新規ファン獲得につながる、街にとって若者の活気がでる。

効果：アーティストと街双方にとって良い効果がある。アーティストは新規ファン獲得につながる、街にとって若者の活気がでる。

No.385 / ヒント : 交通が不便×移民

移民支援

移民受け入れを行うことで異文化理解とかその地のことを知るきっかけを生む（国際と田舎と繋がり）

背景：日本では移民を受け入れることを全然促進していない。

効果：日本、世界に移民受け入れのムーブメント。

No.386 / ヒント : 交通が不便×国境がなくなる

国境で争うのやめよう

県境では厳格な取引がないように国境をまたいで関わることの大切さ発信。まず田舎と都会を密接につなげる。(ex: 交通の便良くなる、協力しやすい、インフラ整備、途上国支援)

背景：国境は旅行の時に使えばいいだけ。過去の争いや戦争で得た領土のことは気にしないべき。

効果：あたたかい人増える、争い減る。

No.387 / ヒント : 都会アクセス×高度な移動

バイセコー as a transpotation

自転車の無料レンタルを都会に設置する。

背景：コロナで公共交通機関を使うことへの抵抗。ガソリンの車の使用によるCO2の増加。

効果：人と接触せずに自転車を無料で使用できることで、ガスの排出がすくなくなる。

No.388 / ヒント : 交通が不便×新エネルギー

永久機関によるモビリティの開発

エネルギーの供給を必要としない、または人間の軽い力を動力源とするモビリティが開発される。

背景：ガソリン車の生産中止などでできているが、外部からのエネルギー使用ゼロの車は開発されていない。

効果：永久機関なのでエネルギーを浪費することがない。その余ったエネルギーを他に生かせる。また排気ガスによる環境汚染の問題もなくなる。

No.389 / ヒント : 都会アクセス×田舎の概念が変わる

行政の枠組みの変化

疫病や災害で都市部から地方への大規模な人口移動が起り、既存の行政機構では凝視絵サービスを維持できなくなる。

背景：大阪都構想の動きなど、今の行政機構のありかたを見直す議論が出てきている。

効果：誰もが最適な行政サービスを受受できる行政のあり方が議論され、国民の生活満足度や幸福度が上がる。

No.390 / ヒント：都会アクセス×情報漏洩

情報安全都市

丹波の山の中に、情報が漏れないセキュリティを施した情報センターを設ける。

背景：都市部は情報にあふれているので、その分漏洩リスクも高い。

効果：さらなる情報社会になる将来において、企業はいかに情報を安全に保有できるかが生命線になる。そこで丹波が情報漏洩しないまちとすることで、企業が多く立地するようになり、経済や雇用の問題が解決する。

No.391 / ヒント：交通が不便×人口減少

スーパーコンパクトシティ

交通機関が不要なくらいの近距離で生活が完結する小さな単位のまちを無数につくる。

背景：限界集落、過疎、買い物難民などの問題がある。

効果：生活に交通機関がいらないので、だれでも不便なく生活できる。

No.392 / ヒント：都会アクセス×電腦空間

都市の電腦化

ありとあらゆる物や情報が瞬時に行き交うことがどこでも可能な為都市として集中する意味がなくなり電腦世界が都市現在のような中心的な機能をはたす。

背景：全てのサービス電子化が進む。高速移動の確率。

効果：都会と田舎の利便性の差がなくなり地方分散が進む。

No.393 / ヒント：都会アクセス×高度な配送・転送

特急列車を使用して特産員を輸送

特急列車を用いて京阪神地域に栗や黒豆などの特産品を輸送できるようにする。

背景：トラックなどで運ぶより速く傷つけずに輸送することができる。

効果：京阪神地域の人に丹波篠山地域の魅力を発信できる。

No.394 / ヒント：都会アクセス×高度な移動

高度ベッタウン

都市部への超高速通信網の実現により、仕事をオフィスで行っている環境をバーチャルで作り上げる。

背景：人口流入。

No.395 / ヒント：都会アクセス×高度な配送・転送

農作物の瞬間宅配サービス

収穫して数分後に家庭にお届け出来る。

背景：農家の収入の安定。

No.396 / ヒント：都会アクセス×電腦空間

バーチャル通勤電車

通勤という概念がなくなっている中で、昔の通勤を体験することをコンセプトに福知山線の好きな時代ごとの景色を電車に乗って体験できる。

背景：通勤をしなくてよくなる。

No.397 / ヒント：都会アクセス×電腦空間

バーチャルオフィス

家においてオフィスに出勤しているのと同じ感覚で仕事ができる。

背景：バーチャル技術の向上によりリアルに近いフルダイブ型の環境が整う。

No.398 / ヒント：都会アクセス×AIの発展

空路を含めた最短距離ナビ

安全で最短の交通手段のナビゲーションシステム。

背景：個人で空も飛べるようになっていの中で安全に最短で目的地に着くルートをAIに任せる。

No.399 / ヒント：都会アクセス×全自動化

車に乗ったら勝手に都会

全自動運転の確立により車にのれば自動で目的地に運んでくれる。

背景：自動運転の実用。

No.400 / ヒント：都会アクセス×死後の世界

どこに住んでいても絶対参加のお葬式

リアルできなければ来れるし、バーチャルでも参加できるお葬式が実現することで絶対に参加できる状態になる。

背景：都市へのアクセスのよさとバーチャル空間の情兵量増加によるリアルとほぼ同等の体験が出来ること。

No.401 / ヒント: 都会アクセス×田舎の概念が変わる

都会は遊ぶところ、田舎は住むところ

都市部に住居を構えるメリットがリスクを上回り、田舎に住むデメリットがなくなっていく。

背景: 自動運転により田舎は不便でなくなり、バーチャル空間の発展により通勤が必要ではなくなる。その上、ウイルス、天変地異などの影響を考えると都市部で集まって生活をするリスクが浮き彫りになっている。

No.402 / ヒント: 都会アクセス×言語の壁

空飛ぶ車で全世界旅行

同時通訳技術の発展により言語の壁はなくなる。その上で、空を飛行する車の実用により、世界旅行が自家用車で実現できるようになる。

背景: 同時通訳技術の確立。飛行する車の実用。

No.403 / ヒント: 都会アクセス×国境がなくなる

都会のアクセスもいいけど外国へのアクセスもいい田舎

小型国際空港の特区として丹波地域は発展する。

背景: 長距離移動可能な小型飛行機専用の飛行場の設置と国際空港化を許される限られた自治体の一つになる。

No.404 / ヒント: 都会アクセス×趣味で生きていける

リアル電車によって都会にいける福知山線

電車自体が不要になる中、電車好きの為にだけに運行を続けるアミューズメント交通手段。

背景: 電車がなくなるときにアミューズメントとして福知山線を残す。

No.405 / ヒント: 都会アクセス×ベーシックインカム

田舎で山や川を保全するとお金がもらえる制度

限界を迎え誰もいなくなった土地の川下で起きる災害を目の当たりにした国の国土保全制度として田舎に住んで日常的に山川を保全するだけで最低限の生活ができる給料が出る。

背景: 限界集落が日本中で崩壊し、川下の人口密集地で洪水や災害が多発する。

No.406 / ヒント : 都会アクセス×新エネルギー

充電した電気を買って取り返せる自転車

人の移動が少なくなる中、自転車での移動する人にバッテリーを搭載した自転車を普及することで田舎から都会へのアクセスは充電になり、都市部の電気ステーションで電気を買って取り返せることができる。

背景：小型大容量のバッテリーの実用化。自転車での発電の高度化。

No.407 / ヒント : 都会アクセス×念力

自分の力で空を飛べる時代の到来と丹波特区

人間の脳内の解析がある程度進むことで空間に干渉できる能力の実現とそれを鍛える学校や実験場の設置を特区として手を挙げる。

背景：脳内の解析が9割完了。超能力を科学的に解明、開発に国を挙げて取り組む。

No.408 / ヒント : 都会アクセス×キャッシュレス

田舎の ICT 最先端化

田舎と ICT の親和性の高さから住人の IT リテラシーの向上が都市部より上回り完全キャッシュレス社会の実現による都市部よりの最先端な田舎の誕生。

背景：ICTを活用した地域課題解決を早くから実践。住人はその効果によって豊かな暮らしを体感。

No.409 / ヒント : 都会アクセス×宇宙進出

山の中小型ロケットの発射場

都会までのアクセスのいい土地で、なおかつ、人の住居まで距離のある山の中にロケットの発射場を整備。

背景：未使用の土地がたくさんあるのでロケットの小型化が進んだ段階で発射場建設地に手を挙げ実現している。

No.410 / ヒント : 都会アクセス×教育の高度化

最先端教育施設は田舎に作る

都市部の生活リスクが上がってくる中、移動手段の高度化により教育施設は災害、疫病などのリスクの低い土地に建設する流れが起こる。

背景：最先端教育をオンラインで世界中とつなげる学校を建設。人間力を向上するために校舎は田舎に作る流れを起こす。

No.411 / ヒント: 都会アクセス×AI 問題

AIには届かない発想を鍛える自然学校

人にしか出来ない発想を鍛える公的自然学校の運用。

背景: AIの発達により情報処理の仕事やデータ管理などの事務の仕事がほぼなくなる中、人らしい発想が価値を持つようになり、それを鍛える為に人は自然と触れ合える環境が最適であると証明される。

No.412 / ヒント: 都会アクセス×情報漏洩

情報漏洩の心配のない特区

無線を含むインターネット接続に対しての完全な管理をAIにより実現する特区をつくり企業誘致を図る。

背景: 有線、無線に関わらずハッキングの技術も向上する為、様々な形での情報漏洩が起こる。特殊なサーバーを自治体で持ち、それをAIに管理させることにより情報漏洩を100%なくす。

No.413 / ヒント: 都会アクセス×大災害

災害がないだけで土地の価値倍増

災害が多発する沿岸部に人口集約することのデメリットがはっきりし、交通手段の高度化とバーチャル技術の発展により山間部の価値が向上する。

背景: 東南海地震をはじめ、様々な災害が都市部を襲う。過去のデータから臨海部は危険である事実を再確認する中、移動手段の高度化やバーチャル技術の向上が並行して起こることで山間部が国の資源であると認められる。

No.414 / ヒント: 都会アクセス×戦争

ミサイル飛んでこないけど不便じゃない

ミサイル1発の殺傷効率を上げない様に人口密度を下げた都市計画を策定。

背景: 戦争が起きても狙われにくい土地であり続ける。

No.415 / ヒント: 都会アクセス×格差社会

畑をもっているだけで富豪

お金を必死で稼がないといけない都市部のスラムに対し、農業が全自動化され、お金がなくても飢えることのない田舎の格差はどんどん縮まる。

背景: 農業の全自動化の実現。配送出荷の全自動化の実現。都市部の仕事はAIとロボットが管理を行い人はロボットに出来ない様な危険で不確定な仕事だけを必死でこなす。

No.416 / ヒント : 都会アクセス×職がなくなる

畑あるから働かない

好きなことの為に収入を得るだけで日常生活の必要経費は全自動で農作物が稼いでくれる。

背景 : 働くという概念のない土地になる。

No.417 / ヒント : 都会アクセス×移民

都市部からの土地を持たない移民の為の居住地を市が管理

畑を持ってなかった都市部の人を受け入れる居住地を作る。

背景 : 食を生み出せる土地の価値が最大限にあがる。

No.418 / ヒント : 都会アクセス×田舎崩壊

田舎に人は住む

都会は遊ぶところという常識。

背景 : 技術の向上により都市部と田舎の価値観が逆転。

No.419 / ヒント : 都会アクセス×生活の変化

都会にアクセスしない田舎

最先端のバーチャル設備を公的機関が購入しいつでも使用できる施設があるので都市部にアクセスするという常識がなくなる。

背景 : バーチャル技術の革新。最先端設備を自治体が購入し使用者から税金をもらう設備を配置。

No.420 / ヒント : 都会アクセス×人口減少

人口の分散化

田舎が居住地となることで人口は減少するが都市部へのアクセスのいい中山間地区の人口は大きく減らない。

背景 : 日本の人口は減少するが都市部の人口は激減し、地方へ分散する。

No.421 / ヒント : 都会アクセス×制度の崩壊

通勤という概念がなくなる

都市部に集まって仕事をするメリットがなくなる。

背景 : 人は通勤をしなくなる。インターネット上で全てが完結する。

No.422 / ヒント: 都会アクセス×寿命が無限

意識を情報として転送する

人間の意識を全て解析し情報として何処へでも瞬時に行くことが出来る。

背景: 人の意識の情報を解析完了。

No.423 / ヒント: 都会アクセス×人口が増えすぎる

田舎人口統制

都市部には移民が押し寄せ、スラムができるが、田舎は人口を統制することで問題を起こさない。

背景: 人口減少の進む先進地域に移民が押し寄せる。

No.424 / ヒント: 交通が不便×キャッシュレス

ウォーキングコイン

丹波地域は交通が不便な地域としてウォーキングに特化した地域として売り出すことで、ウォーキングコインを稼ぎたい人が往来する。

背景: 人の健康増進のために運動をすることで仮想通貨を得られる仕組みが生まれる。

No.425 / ヒント: 交通が不便×全自動化

田舎へドライブがアクティビティに

運転できない人でもドライブが楽しめるようになる。運転のしんどさがなくなり遠くまで行けるようになる。

背景: 全自動の車が1人1台支給される。

No.426 / ヒント: 都会アクセス×大災害

南海トラフも怖くない

丹波篠山は、南海トラフの影響をうけなさそう。

背景: 都会よりも、避難場所が充実している。

No.427 / ヒント: 都会アクセス×AIの発展

住みよい地域 No1 に丹波が選ばれる

住みよい地域を算出するAIの開発に丹波の人が携わり、なるべく丹波地域が選ばれやすくなる変数を採用して丹波地域が選ばれるようにする。

背景: AIの算出は人間が決めた変数によって決定される。

No.428 / ヒント : 都会アクセス× AI 問題

自然の心を AI に覚えさせて丹波地域に移住してもらう

AI が人形になって移住しだすときに、自然環境を重視させ、自然環境豊かな丹波地域にどんどん移住してもらう。

背景 : AI による人造人間が開発される。

No.429 / ヒント : 都会アクセス×エンタメ

自家用移動用ドローン実現

都市部につくまでがアミューズメント化。

No.430 / ヒント : 都会アクセス×高度な移動

都会アクセスの有利性を生かした働き方

ワーケーション施設などを設置し、必要に応じて都会での仕事を行う。

No.431 / ヒント : 都会アクセス×念力

テレポーシヨンスポット作成

科学技術の革新で人間の念力が解明され、瞬間移動等の技術が開発される。丹波篠山に先進的にテレポーシヨン装置を設置して都会へのアクセスを売りしていく。

No.432 / ヒント :

F1 はエンタメとして残る

手動で運転する必要がない時代に、運転スキルを競う競技として残る。

No.433 / ヒント : 都会アクセス×高度な移動

自動車と電車の便利化

自動車…ハイウェイは自動運転化。社内のナビに観光情報や目的地の天気などの情報が流れる。看板効果が薄くなるので道沿いの看板は撤去。景観はスッキリする。電車…停車駅が少なくなる。使われなくなった駅舎は電気自動車の充電スポットなどになる。

No.434 / ヒント : 都会アクセス×高度な配送・転送

VR 市場・直売所

都会の自宅にいながら漁港の市場、農産物直売所などと VR で繋がってその場で選ぶ感覚で商品を選び、それが新鮮なまま送られてくる。選ぶ体験が付加される。

No.435 / ヒント: 都会アクセス×教育の高度化

交通の不便解消で地方格差をなくす

交通の不便を理由に大学などの選択を狭めないように、交通の不便を改善し、どの場所に住んでいても平等な選択肢を得られるようにする。

No.436 / ヒント: 都会アクセス×趣味で生きていける

好きなことでワクワク

自分の好きな興味のある分野の人たちと話せるコミュニティをつくる。

No.437 / ヒント: 交通が不便×新エネルギー

エネルギー一体化

町全体にエネルギー発電できる場所をたくさん設置して町で公共機関に使うエネルギーを自給自足できるようにする。

No.438 / ヒント: 交通が不便×言語の壁

シェアハウス

空き家を改修してシェアハウスをつくる。1ヶ国1人限定にして全て違う国出身の人と一緒にシェアハウスをする。

No.439 / ヒント: 交通が不便×全自動化

どこでもドアツアー

篠山を中心とする丹波地域をひたすら行きたい場所にすぐ行けるツアー。春日城跡など山の上の観光スポットでも誰でも自由に観光！

No.440 / ヒント:

道なしエリア

すべての移動に空路が選択されるまで整備されれば、国道、県道、市道を管理する必要がなくなる。

No.441 / ヒント: 都会アクセス×大災害

災害がおこるたびに都市との平面上のアクセスが分断される

管理放棄地が増えてきて森の面積が広がる。そのため災害がおこるたびに、都市とのアクセスが分断されることが増えて、陸路の交通が廃れてくるのでは。

No.442 / ヒント : 交通が不便×新たな交通手段の登場

第三の移動手段で移動が格段にしやすい

自動車や自転車とも違った移動手段で街を移動。

No.443 / ヒント : 移動しづらい×ロボット

ロボットが移動をアシスト

歩行を補助するロボットなどの誕生によって移動しづらいことを改善。

No.444 / ヒント : 都会アクセス×趣味

趣味と仕事の両立

週末など休みを使ってスキーやキャンプなどを楽しみながら、仕事をしていく。

No.445 / ヒント : 交通が不便×AIの発展

AI道路舗装

道が悪い場所を写真で撮って自治体に送ることでAIが自動で舗装してくれる仕組みを作る。

No.446 / ヒント : 交通が不便×AIの発展

道を覚えるAIタクシー

同じような行動範囲の人をグループ分けして、そのグループごとにAIタクシーを用意する。

No.447 / ヒント : 都会アクセス×高度な移動

通勤圏内瞬時移動

丹波地域から都会の職場に瞬時に移動できるようになる。

No.448 / ヒント : 都会アクセス×生活の変化

生活拠点変化

都会へのアクセスが簡単になり、丹波地域を生活拠点にする人が増える。

No.449 / ヒント : 都会アクセス×AIの発展

人型ロボットの開発

丹波地域で人との触れ合いを積極的にを行う人型ロボットを開発する。

No.450 / ヒント: 都会アクセス×全自動化

車、買い物、子育ての全自動化

車、買い物、子育てを全自動で行ってもらう AI を開発し、お母さんの負担を減らす。

No.451 / ヒント: 都会アクセス×言語の壁

共通言語の統一

共通言語を丹波弁に統一する。

No.452 / ヒント: 都会アクセス×国境がなくなる

国の選別が無くなり一つの多民族国家

日本は多民族国家となり、丹波地域はそれを優先的に行う。

No.453 / ヒント: 都会アクセス×ベーシックインカム

都道府県ごとのベーシックインカム導入

都道府県ごとにベーシックインカムが導入される。

No.454 / ヒント: 交通が不便×高度な移動

物質転移技術の確立

物質転移の技術が確立され、配送のコストが削減される。

No.455 / ヒント: 交通が不便×高度な配送・転送

個人間での簡易航空便

個人間でドローンを用いた簡易航空便が使えるようになる。

No.456 / ヒント:

空の交通網

自動車だけではなく空の交通網が広がり、移動の制限が少なくなる。

No.457 / ヒント:

京阪神中継ハブ化

丹波地域を京阪神の中継ハブ化し、関係人口を増やす。

No.458 / ヒント :

自動運転タクシーの普及

自動運転タクシーが普及し、自家用車を持たない人が丹波地域に増える。

No.459 / ヒント :

海上エリアの増設

海上エリアが増設され、生活圏が広がる。